

第13回 平成27年 2月19日(木) 3限 11:10~12:15

演題:「動物の家畜化とDNA技術の応用」

講師:神戸大学大学院農学研究科 教授 万年英之 氏

人類が食料としている肉は家畜から得られ、家畜は野生動物を家畜化したものです。そして家畜のDNAを読む解くことにより、私たちが食べている牛肉の品質、また牛肉の品種や産地、由来についての先端DNA技術の開発と利用についてわかることを説明していただきました。

神戸ビーフに代表される和牛は世界的にも高く評価されています。神戸大の研究室では牛肉のおいしさに関係する遺伝子を発見されており、このDNA診断法は、和牛の改良や牛肉品質の検査に利用され、日本国内で流通している牛肉の大部分の品種や産地が判別可能になっているそうです。農学の魅力を十分に感じ取れた講義でした。

